

秘

昭和六年十月

税表番號五四九ノ内 陶 齒 關 税 問 題

希島村技師

杉屋新市(内田前)

主税局關税課



税表番號五四九ノ内

陶器

從價 二 割

一、關稅引上論

陶器ハ以前凡テ輸入ニ仰キタリシカ大正七年京都ノ窯業家松風嘉定ナル者其ノ國産品ナキヲ概シ松風工業株式會社内ニ陶器研究所ヲ設ケ之カ研究ニ着手シ遂ニ其ノ製造ニ成功シタルニ依リ大正十一年松風陶器製造株式會社ヲ創立シ最近ニ至リテハ全ク輸入品ニ劣ラサル優良品ヲ製造シ得ルニ至レリ、然ルニ從來我國陶器ヲ供給シツツアリタル米國紐育ノ「デシスト・サッブライ」會社本會社ノ買収ヲ企テ之レカ交渉ヲ爲シ來リタルモ同社ハ此ノ種事業ヲ外國人ノ手ニ移ストキハ將來陶器ノ騰貴ヲ見ルヘキ懸念アルノミナラス一朝有事ノ際國民保健ノ獨立ヲモ脅カサルノ虞アリトナシ斷然之ニ應セサリキ、是ニ於テ「デシスト・サッブライ



イ」會社ハ本邦陶齒製造業ノ潰滅ヲ策シ近來陶齒價格ノ引下ヲ行ヒ本邦品ト競争ヲ開始スルニ至レルヲ以テ之レカ關稅ヲ引上ケ本邦斯業ヲ保護スル要アリト認メラル

關稅調查委員會ニ於テハ本品ノ關稅ヲ引上クルヲ適當ト認メタリ